

当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

「院内感染対策における Desfan-10 製剤の有用性の検討」に関する研究

グレープフルーツ種子抽出物(Grape Seed Extract:GSE)より作成された Desfan-10 の SARS-CoV-2 に対する抗ウイルス効果を検証し、COVID-19 診療における感染対策に応用します。

1. 研究の対象

院内感染を生じうる感染生物による感染もしくは保菌が判明した入院患者およびその患者にかかわる業務に従事する病棟スタッフ

2. 研究目的・方法

研究目的：Desfan 製剤の院内感染対策における有用性を検討する

研究方法：Desfan-10 製剤 0.5%水溶液に 10 分間浸漬（ディッピング）し乾燥させた病室のカーテンおよび標準防護衣を通常の入院診療業務として使用し、院内感染の原因となる感染生物の感染もしくは保菌が判明した患者および院内感染の動態について観察する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：院内感染発生件数および院内感染の原因となる感染生物の感染保菌が判明した患者の性別、年齢、入院となった疾患、ADL、入院期間、入院部屋の形態（陰圧、個室、大部屋等）、転帰等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：東京品川病院 総合内科 医長 太田真一郎（電話：03-3764-0511(代表)）

(2020年7月7日作成)